

信号機の改良等による各種効果(R2年度末現在)

○ 交通事故抑止効果

◇ 信号機の改良等

事業 年度	集中制御化		プログラム多段系統化		右折感応化		多現示化		半感応化	
	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数
平成27年度	286	80	107	21	48	38	450	279	30	12
平成28年度	182	51	94	19	49	39	398	247	63	26
平成29年度	155	43	176	35	51	41	342	212	33	14
平成30年度	73	20	92	18	48	38	335	208	16	7
令和元年度	227	64	204	41	40	32	324	201	10	4
令和2年度	145	41	221	44	26	21	297	184	8	3

事業 年度	信号灯器のLED化		対向車接近表示装置		閑散時押ボタン化		閑散時半感応化		速度感応化	
	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数
平成27年度	3,028	2,877	0	0	14	7	28	11	1	1
平成28年度	3,048	2,896	0	0	7	4	38	15	1	1
平成29年度	2,747	2,610	0	0	5	3	23	9	3	3
平成30年度	2,803	2,663	0	0	4	2	15	6	0	0
令和元年度	3,498	3,323	1	2	10	5	4	2	0	0
令和2年度	4,117	3,911	0	0	2	1	9	4	1	1

事業 年度	歩車分離化		歩行者感応化		視覚障害者用付加装置		高齢者等感応化		音響式歩行者誘導付加装置	
	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数
平成27年度	95	58	4	5	258	204	36	15	53	24
平成28年度	64	39	18	24	298	235	30	12	36	17
平成29年度	129	79	13	17	213	168	36	15	26	12
平成30年度	136	83	5	7	194	153	46	19	33	15
令和元年度	141	86	14	18	272	215	30	12	36	17
令和2年度	145	88	11	15	277	219	17	7	23	11

事業 年度	信号機新設									
	全感応		半感応		プログラム多段化		押ボタン		一灯点滅	
	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数	基数	抑止件数
平成27年度	0	0	32	41	164	208	84	46	0	0
平成28年度	2	3	20	25	109	138	66	36	0	0
平成29年度	0	0	20	25	107	136	58	32	0	0
平成30年度	0	0	20	25	113	144	42	23	0	0
令和元年度	1	1	9	11	91	116	38	21	0	0
令和2年度	1	1	10	13	80	102	22	12	0	0

事業 年度	計 抑止件数
平成27年度	3,295
平成28年度	3,180
平成29年度	2,860
平成30年度	2,805
令和元年度	3,452
令和2年度	3,826
小計	19,418

・「抑止件数」とは、信号機の改良等により抑止されたと推計される死傷事故件数であり、「交通安全施設の効果測定」により、1事業当たりの整備前後の死傷事故発生状況について調査し、得られた数値を統計学的に処理したものを死傷事故抑止係数(アウトカム係数)とし、これに整備基数を乗じて得られた事業ごとの抑止件数を累計することにより算出している。

また、各年度における抑止件数は、当該年度のアウトカム係数に、平成27年度から当該年度までの間に改良等された信号機の合計の整備基数を乗じて得られた数としている。

・単位未満四捨五入しているため、表中の各項目の和が小計と必ずしも一致しない。